

## 地球の魔法使いの7日間上級トレーニングセミナー

チステルニーノ (イタリア)

### シンクロトロン

講師：ヴァルム・ヴォタン

原文：<https://www.13lunas.net/seminarios/cisternino/index.html>

(注) 資料画像は推定して追加してあります。

2日目 285 714

NS. 1. 22. 2. 16 Kin 47

青い銀河の手

月のサソリの月セリ 16日

フレーム 291

TFI 713, BMU 272, KE 193

二項極性の交差原理と普遍宇宙秩序の調和。夜も昼も、上も下も。

午前中に…

快適ですか？身体の統制ができるくらいに十分に快適でしょうか？この特定の形態で転生するためには、多くの課題があります。通常、私たちは21歳ごろから本当の自分を忘れ、それを思い出すための道を歩き始めます。本来の周波数や振動数に相当するものが見つかるまで、あちこちを探します。そして、おそらくこれが私たちが訪れた最初の惑星ではないことを思い出します。多分、私たちのほぼ全員が別の惑星または別の宇宙から来たことを自己認識しています。そして、本当は何をするためにここに来たのかを思い出そうとしているのです。

昨日、シンクロトロンについて非常に興味深い紹介がありました。

私たちは、シンクロトロンが生きた送受信システムであること、その周波数がさまざまな数学的コードを通じて送信されること、バビロンの食べ物によって養われた思考にとっては挑戦的であることを認識し、理解しながら、シンクロトロンについて話し続けます。したがって、私たちは思考の多くの条件付けを解消するか、切断するか、沈黙させなければなりません。

ここにいる私たちは、このプロセスには終了日があり、その数学的コードが2012年で

あることを知っています。

昨日の講義の最初の方で、2006年11月のイスタンブールでのメヴラーナとの会談と『知識の書』との出会いを私たちの重大な瞬間として言及しました。

『知識の書』は、未来からの視点として参照できる、宇宙情報の表明を提供します。それは宇宙科学の表明の一形態を提供するものでもあります。

宇宙科学についての別の表明は、1970年からこの地球上で発生しています。私たちが扱っている情報の一部は、特に1970年3月7日に受信された地球外文書である『宇宙科学』から直接得られています。私たちが扱っているすべての情報は、地球外起源のもので、私たちは皆、宇宙人ですが、この小さな惑星に到着すると、そのことを忘れてしまうようです。『知識の書』にはシリウス評議会、シリウスBに関する記載があります。最終的にシンクロトロン大要録にコード化された情報は、シリウスB評議会によって漏洩された情報なのです。

441の情報を受け取り始めて以来、私はメヴラーナとより多くのコミュニケーションを続け、結果として深い相互認識が生まれました。

彼女は私たちがこのセミナーを行うことを知っていました。私は、セミナーの始まりに当たって何か一言書いてもらえないかと彼女に依頼しました。次の一文は昨日届いたのですが、技術的な制限のために今日まで受け取ることができませんでした。この文章を読んでうれしく思います。

2009年9月6日

[NS1. 22. 2. 15 Kin 46]

尊敬する友人、親愛なる兄弟姉妹の皆さん、ようこそ。

現時点で私たちは、自分たちの思考から生まれたプログラムを望むように実践する機会がもはやないような世界プログラムの中を生きています。私たちの多くはこのことを経験し、知っていると思います。特に私たちが現在生きているこの時代、メディアの時代と考えられている特別な時代において、真実は、達成された意識に応じて、今後すべての人の目の前に提示されます。

もちろん統合に向けたこうした動きは、私たちの地球だけに関係する現象ではありません。この最終段階のシステムは、宇宙秩序と宇宙の全体性の統合のシステムであり、来るべき時代は黄金時代と呼ばれます。

黄金時代は、一つの神、一つの秩序、一つのシステム、一つの書物へと私たちを導き、そして人類が世界全体の友愛の中で兄弟姉妹のように幸せに暮らす明日の環境を約束します。

この世に生を受けたすべての存在は、それぞれの進化と精神文化に応じた義務を負っています。

今日に至るまで、私たちは人類を助ける方法を知りませんが、私たちの生命が発展する環境の中で、一なる者への奉仕の法則に忠実であり続ける研究が行われています。

現在、地球上の多くの場所で、宇宙に関係するさまざまなグループが、それぞれの能力と役割の理解に応じて、その使命に取り組んでいます。この階層的なはしごは壮大な連鎖であり、適切な時期が来るまでは誰もその一部になることはできません。時間意識と進化意識が調整されている人だけが、この連鎖の一部になれるのです。

自然界に存在する全てのものは自然法則に従います。私たち人間は、宇宙の階層的テンプレートのさまざまな段階に対応する進化プログラムの影響を受けています。

世界統合のプロジェクトにおいて確立される精神状態は、意識と信仰の集合的全体性があるときに有効になります。従って、これまで行われてきた研究、そしてこれから始まる研究は、この完全な信仰を達成した人たちによって行われることになります。この将来の世界国家の最初の目的は宗教の統合です。同胞愛の屋根の下に設立され、結集するこの明日の世界での有効な基準の第一は、「受容の法則」です。

崇拜対象ではない『知識の書』は、この理由からオメガ（最後）の書として登場しました。これまでに12か国語に翻訳され、多くの国で読まれているこの真実の書は、人類最後の時代の青写真を提示しています。私たちの惑星は現在、静かで深い復活を経験しており、救済プログラムへの集団移行が進行中です。私たちの世界では、洪水、竜巻、地震が起こることがあらかじめ定められています。おそらく誰もそれを知りませんが、私たちが経験しているこの瞬間に、私たちの地球はゆっくりと息を引き取りつつあります。

宇宙が私たちに教えてくれることの価値は、宇宙は私たち自身よりも私たちのことをよく知っているという事実からもたらされます。私たちの世界は宇宙のアーカイブです。そして人間は宇宙の図書館です。宇宙は太陽系の小さな点にすぎない私たちの世界を高く評価しています。なぜなら、それが最初の生命発達のゆりかごだからです。そして、宇宙の法則への拡張は、この小さな塵から始まったからです。

私たちは現在、この素晴らしい任務を遂行していることに気づいていない可能性があります。しかし、明日になればすべてがはっきりと分かるでしょう。

私たちはそう信じてこの屋根の下に集まりました。

皆さんに愛と敬意を、ありがとう。

(訳注：英文は <https://lawoftime.org/lawoftime/synchrotron-appendix-message-from-mevlana.html>)

これは宇宙の声からのメッセージです。私たちが地球の救いと復活について語る時、それは偉大な宇宙階層によってモニターされてきたものです。シリウス B 星評議会は銀河間宇宙連邦議会 (AFCI) の一つの機能であり、この意識シフトのための時間の法則とシンクロトロンによって、『知識の書』の宇宙論を補完します。

私たちはメヴラーナに 13 の月 28 日周期を提示しました。長いセッションの後、彼女の結論は、13 の月の同期がこの惑星の救済計画の不可欠な部分であるということでした。それは数学の完全な 4 次元システムの全体機能であり、3 次元平面に固有の誤差の影響を受けないためです。

昨日言ったように、この 7 日間の教育プログラムのおかげで、私たちは銀河間通信の媒体に入りました。早く目覚める人もいれば、少し眠くなる人もいます。飛び乗ろうとする人もいれば、これは重すぎると思う人もいるでしょう。しかし、ここにいる私たち全員は、多くの経験をして多くのテストを受けるために地球に来ています。この星にいて、多くの試練を経験することに加えて、それぞれが特定の役割に目覚めます。根本的なレベルでは、この使命が私たちの誕生キンの意味に関係していることを私たちの多くが知っています。銀河の署名を持つ目的は非常に奥深いものです。まず、それは自分のエゴや地球上のパーソナリティから自身を識別するのに役立ちます。なぜなら、自分がどんなキンであるかを誇りに思うかもしれませんが、260 の銀河の署名と 70 億人の人類がいるのですから、あなた個人はそれほど重要ではないからです。

私たちが本当に追い求めている目標は、ハートとスピリットの銀河的集合的な統合です。私たちが抱えている最大の問題は、誰もが「ねえ、私が誰で、私が何を持っているのか見せてあげましょう...」という自己顕示欲を満たす必要があることです。私たちは他のチャンネルよりも自分たちのチャンネルを大切にしようと努めています。そしてこれらが統合への障害になっているのです。宇宙はあなたの些細な旅など気にしません。私たちが何かをうまくやってそれを誇りに思っても、宇宙は気に留めません。私たちは皆、意見を聞いてもらい、認めてもらいたいと思っており、誰もが Facebook を持ちたいと思っています。これはエゴの飢えの象徴です。それは、私たちが匿名であり、制御の及ばない大規模なシステム内の一つの数字に追いやられていることを反映するものです。しかし現実には、私たちは一つです。

私たち一人ひとは同じ鋳型から作られています。私たちは皆、13 個の主要な関節と 20 本の指を持っています。私たちは皆同じチャクラを持っています。

プラーナヤマとチャンツを試みましょう。やり方は次のようになります。

4 つ数える間、息を吸い込む。4 つ数える間、息を止める。4 つ数える間で息を吐き、

4つ数える間は空気を吐ききった状態を続ける。こんな感じを3度繰り返します。それから、対応する放射状プラズマとチャクラを視覚化しながら、7つのマントラを唱えます。そして今日のプラズマであるセリに対応するマントラ、フライーム（HRAM）を3回繰り返して唱えます。

つまり呼吸を3回、7つのマントラを1回繰り返して、そして今日のプラズマに対応するチャクラとプラズマを視覚化しながらマントラを3回繰り返します。

さて、これで最低限の意識統一が達成できました。

特別新しいことではないこのプロセスを通じて、私たちはそれが意識統一への直接的な道であることを実感することができます。世界中のすべての人々がこれを行っていること、議会の会議の前、またはあらゆる種類の閣僚会議やあらゆる種類の審議の前に、この種のエクササイズを行っていることを想像することはできます。私たち全員が集まって、地球上で一斉にこれを実行してみようではありませんか？おそらく私たちは意識統一に近づき始めることでしょう。

もし夜に散歩に出れば、犬たちはみんな起きて吠え始めますが、特に満月の時は犬たちの意識が統一されます。私たちも同じようにマントラを唱えることができます。私たちが今のように一斉にマントラを唱え、放射状プラズマを視覚化し、全員が同じヴァイブレーションで同じ音を発し、同時に全員が同じものを視覚化すれば、人々は同じマインドの状態になります。そして、これが重要なポイントですが、この種のエクササイズはいつでも行うことができます。

あらかじめプラーナヤーマを行うこと。それは4ステップのプロセスです。入口としての吸気、それを蓄えて倉庫のような身体にエネルギーを与える（倉庫プロセス）、そして出口である呼気、それから空気を入れずにマトリックスの状態にいること。これはまた宇宙の完全なプロセスでもあります。宇宙とは、大なる吸気、休止、呼気、そして決定的な休止なのです。

私たちがこれを自分自身の中で行うとき、一人一人の人間が宇宙の図書館のようなものであると言われる所となります。意識的にこのように呼吸することで、あなたは宇宙システムの完全な全体性となるのです。

息を吸い込むと、宇宙や星々があなたの身体に入ってくることが感じられます。息を吸い続けることで、星や宇宙のシステムがあなたの身体を活性化させているのを感じることができます。あなたが息を吐くとき、再生された宇宙の現実を吐き出しているのです。そして、息を吐ききった後にそのままの状態で、宇宙が再び眠りにつくことを感じることもできるのです。

私たちが自分自身を忘れれば、宇宙意識に至るのは簡単なことです。呼吸とともにマントラなどを唱えているとき、皆がワンネスの状態です。私たちは宇宙そのものです。

そして、戻ってきて目が覚めると「ああ、それが続いていた間はなんて素晴らしかったんだろう！」と思うのです。しかし、私は再びユニークで融合的で個人主義的な存在として人間の身体の中にいます。さて、私が何をやるか見てみると...しばらく Facebook を開くのを我慢するにはどうすればいいですか?...携帯電話を切ったままにするにはどうすればいいですか?...それとも今日は朝食のシリアルが見つからなかったとみんなに言おうかな?...どうすればこのような誘惑に抵抗できるでしょうか? 私たちは宇宙的な存在に留まっていなくてはなりません。セミナーを続けて、何が分かるかを見ていきましょう。

このセミナーを続けていきましょう。私たちはマスタープログラムを扱っていました。このマスタープログラムの名前はシンクロトロンで、多くのレベルがあります。実際には、それは次元を越えてシンクロシティをもたらす4次元の粒子です。4次元のメガクォンタム粒子のようなもの。私たちがサブリミナル宇宙から来るシンクロシティやテレパシーを体験するとき、実際にはシンクロトロンと呼ばれる高次元の粒子からのインパルスを受け取っているのです。

1970年以降、宇宙から来た兄弟姉妹たちは、私たちがテレパシーでしか受け取ることのできないさまざまな情報をこの惑星に送り、26,000年の周期が終わりに近づいていること、そして私たちが自分たちの周波数を変え、思考方法の調整を始めなければならないことをアナウンスし、確証してきています。しばらく考えるのをやめて、完全に静寂を感じてみてはいかがでしょう。私たちが変革されつつあります。この変革のプロセスでは、私たちが運用しているシステムが実際には機能しなくなっていることに気づくポイントに至っています。私たちの視点は完全に限定されたものであるということを理解しなければなりません。

宇宙の中心が地球だと信じていた中世を人々は原始時代として語ります。そして私たちは太陽中心の宇宙を考え、約100年前には銀河を発見しました。それから私たちは約2億年ごとに銀河の中心を周回していることを知りました。この2億年の周回の間、どれほど多くのことが起こるでしょうか?何百万もの銀河が宇宙の中心を周回しています。次に、私たちは別の限界、つまり人間中心主義の限界を発見します。私たちは人間という限られた視点を通してのみ、あらゆるものを見ています。これが唯物論的サイエンスと呼ばれるようになる大きな限界です。それは単一の次元、つまり三次元の視点であり、物理世界のみが現実であり、別次元からの存在も含めてあり得ないものとしします。

歴史を通じ、天使やその他の名前と呼ばれる優れた存在と接触してきたことを私たちは知っています。特に原爆以降、高位の存在はさまざまな手段や形で私たちとコミュニケーションを試みてきました。人間は非常に条件付けされており、特に自分自身の条件付けから現実を解釈しやすいため、人間によって歪められることなく高次のチャネルから人間に直接情報を送ることはとても困難です。

この知識の一部は『宇宙科学』や『知識の書』を通じてもたらされ、現在では時間の

法則やシンクロトロンによって何が起こるのかが分かります。

シンクロトロンの目的は、数学的コードに基づいた特定の通信方法を実証し、明示し、表現することにあります。繰り返しますが、これは特に新しいことではありません。2500年前、ピタゴラスは自分の学校を持っていました。その学校では、数字は神の真理とされていました。数と幾何学を通して、宇宙の真実を知り、その最も深い形で表現することができるのです。

幾何学は、数が形になることを通して、宇宙の絶対的かつ超越的な真実を説明します。従って、その性質は神聖なものです。数と形を支配する法則は神の性質を表現するものなのです。

現在の宇宙知識体系は基本的に整数系で表現されます。言い換えれば、分数は実際には必要とされません。これらは、円周率など、(ある整数と別の整数の間の)無限に続く数列の中間数と呼ぶことができる特定のタイプを表現します。

しかし、現在の現実には整数系で表現されています。昨日述べたように、シンクロトロンの7つの前提では、ABCの代わりに3-7-21を使います。3から始めます。2の三角数は=3です。

3の二乗は=9です。

そして、3を三乗すると=27、これらは3つの重要な数字(3、9、27)です。そして、7の逆数の数字をすべて足すと27(3の三乗)になります(1/7、2/7などの結果を指し、「組換え体」とも呼ばれます)。これは、3と7の関係を見る非常に重要なポイントです。

私たちは、数値が生きたマトリックスを実際に構成していることを理解しなければなりません。この3-7-21の生きたマトリックスは、441の全体を表現する最小のマトリックスです。7の3倍は21、それに21を掛けると=441になります。

$$4 + 4 + 1 = 9 \text{ (3の二乗)}$$

これは、これらの数同士の密接な関係を示しています。

この時点で私が言いたいことは、数字を扱うときには、言葉を扱うマインドの部分をおぼろげにする必要があるということです。数はそれ自体の次元にあります。

時間の次元、空間の次元、マインドの次元、そして数の次元もあります。時間と結びついた数、空間と結びついた数、マインドと結びついた数は、意識と同じです。

数字を扱うとき、私たちは、それ独自の次元にいます。数字には、それ独自の法則と

絶対的な優雅さがあります。

例：144 は 441 をひっくり返した数であることが分かります。この2つの数を構成する数字を集計すると9 (という数) になります。144 = 12 の二乗、441 = 21 の二乗。ここで、12 と 21 も互いにひっくり返した数であることが分かります。441 の数字の組み合わせの可能性は次の3つです：144、414、441。それぞれ数字を集計すると9 になります。9 が3つを合計すると27 になります。並べると999 になります。

同様に、最初の組換え数7 ( $1/7 = 142\ 857$ ) に7を掛けると、= 999 999 になることが分かります。

私たちのお気に入りの数字の1つ、 $9 \times 13$  である117 を使った別の例です。

441 が夢の中で明らかになったのは、キン117の朝でした。117の組み合わせは何通りあるでしょうか？それは次の3つです：117、171、711。

3つの数字の集計は=9 です。 $9 + 9 + 9 = 27$  です。それらを並べると999 になります。

これらはいわゆる魔法の三つ子であり、もちろん数9の働きです。

144 の場合：

$$9 \times 16 = 144$$

$$9 \times 46 = 414$$

$$9 \times 49 = 441$$

そして117 では：

$$9 \times 13 = 117$$

$$9 \times 19 = 171$$

$$9 \times 79 = 711$$

これらはすべて3の二乗である9の機能なのです。3-7-21。27は3の三乗です。

さらに言えば、999は27掛ける37です。7の逆数( $1/7$ 、 $2/7$ など)を構成する数字を集計すると27になります。では、27の逆数では？37では？

37の逆数( $1/37$ )は = 0.027027027... (つまり 999) 、  
そして27の逆数は 0.037037037...

このように、数には独自の優雅さ、独自の対称性と美しさがあります。それは宇宙の完璧さの普遍的な完全性を提示しています。



銀河間宇宙連邦議会の視点から見れば、私たちの惑星は最も原始的な意識レベルにあります。この惑星は、私たちが意志と呼ぶことのできるものを持つ最も小さな天体です。自らの意志を持った惑星は、自らの生命を持ち、統一意識を維持できる最小単位の天体になります。意識を持つまでの惑星は、亜精神的とみなされます。

特に私たちの惑星は、異なる星系から来た多様な魂が様々な教訓を学ぶためにやってくる場所になっています。学ぶべき最終レッスンは、カルマを信じることへの恐れを克服する方法です。

どの文化にも独自のやり方があり、誰もが自分たちのやり方が正しいと信じています。少し旅行してみると、これがいかに幻想に過ぎないのかが分かります。例えば、米国に行くと、通行が非常に厳しくなりますが、ドバイではとても簡単です。誰もが自分なりの見方を持っています。重要なのは、誰もが自分のやり方が正しいと考えているということです。だから、一つにならなければならないと言われると、非常に難しいのです。それが、AFCI が私たちを非常に原始的な惑星だとみなしている理由です。

1969年に初めて宇宙から地球が見えるようになりました。これによって全体が統合されたシステムとしての世界観が確立されました。

電離層のレベルでは、雲や風などの動きを制御する4つの気象セルと呼ばれるものが地球全体を包んでいることが分かります。風は「進路を変えたい!」とは言いません。雲も気象セルの中を自由に移動します。そのようにして高度に統合されバランスの取れた恒常性システムを創り出しているのです。

さまざまな動物、生き物、さまざまな生物学的形態、植物などの多様なパターンが、それらが機能しているシステム内で統一性を維持していることが分かります。すべての種は何をすべきか、そしてそれをどのように行うべきかを知っています。

人間という種は、どんな環境にも適応する能力という特異な性質を持っています。人類種が惑星生命体を構成しているのがその証拠です。しかし、この惑星生命体は南極に行き、「この部分はニュージーランドのもの、この部分はロシアのもの」などと言うでしょう。現時点で、一つにならなければならないことは分かっていますが、その方法は誰も知りません。本当は知っているのですが、その意志はありません。これらすべての状況は、高次元から見れば、私たちの惑星が非常に原始的なレベルにあることの証左です。

銀河連合は私たち一人ひとりに「これが私たちがしなければならないことだよ」と言っていますが、あなたは「ああ、これは私のやり方への押し付けだ」と思うかもしれません。だからそんなことは起こらないのです。

つまり、このすべてはシンクロトロンの実相によって起こるのです。シンクロトロンは、異なる文化や異なる偏見を生み出す数多くの言語を生成するバビロンの呪い、

バベルの塔の呪いを超越するために、数学的な言語で表現されています。イエス・キリスト、仏陀、聖フランシスコのような偉大な教師たちがいて、私たちは皆兄弟姉妹であり、私たちは皆一つであり、家族であると教えました。私たちは地球上でただ一つの生命体であると。しかし、キリスト教は少なくとも千の異なる宗派に分裂しており、統一を見つけることが困難になっていることが分かります。従って、シンクロトロンのは、人類、または少なくとも選ばれた数の人間が数学的コードに基づいた言語で一つになれるかどうかを確認することにあります。

これらの数学的コードの性質に焦点を当て、特定のタイプの数学的コードを学習し始めながら、それらが集合的統合の最小限のレベルに到達できるかどうかを確認します。目標は、ある種の生物精神電磁バッテリーとして機能できるようにすることです。地球の残りの部分へと放射します。これがシンクロトロンのは機能であり、このセミナーの目的になります。

私たちは最小限のバッテリーを作成し、それを数学的に統一された一連のエクササイズによって同期させ、世界のさまざまな地域に広める機会を持っています。その結果、今後3年間で地球上のさまざまな地点が体系的な方法で統合をシンクロさせることができます。そして2012年の適切な時期が来たら、スイッチを入れてバッテリーが機能するかどうかを確認することができます。

これはAFCIが何らかの介入を始めるようテレパシーで誘うものになるでしょう。つまり、13の月28日のシンクロメーターという基本的な基盤が確立されており、それが機能しているのです。

私たちはドバイからローマまで飛行機に乗り、13の月の暦のアルマナックを持っていて、短い昼寝の間、スユアの国を旅していました。そして、誰かが本をノックするのを感じたのです。それはフライト・アテンダントで「私は白い磁気の魔法使いです！」と言ったのです。これを知っているのは良いことです。これが基盤、基礎なのです。

その基礎から、私たちは精神的な行為の統一されたパターンを創造する可能性を開発します。精神的な行いまたは精神的実践のこのプログラムは、ヘプタッドの7つのゲートを日々開くことに基づいています。それがこのコピーに基本的に表現されているものです。

(資料：7つのヘプタッド・ゲート)

昨日、私たちは、今が4・種の年の第7週目なので、調整された進化のために最適な時期だと言いました。ウェイブスペルの残り7音、つまり、音7から13でもあります。進化と時間の座標は4:7::7:13で結実します。今、音と紋章コードが4・4の年であり、第7週目であり、このセミナーは音7から音13まで行われます。それは完全に設定されたタイミングであり、あたかも私たちをここに連れてきたシンクロトロンが私たちをこの宇宙論の基礎に連れて行ってくれたかのようです。

宇宙論は、銀河の羅針盤に7つの空白スペースがある理由を説明するホイールによっ

て表現されます。この7つの空白は創造の7日間に相当しますが、ホイールの側から視点では、この7つの空間は「隠された7」です。ホイールには13の記銘の部分と7つの空白スペースがあります。

そう、私たちは（羅針盤の）一番外側の緑の輪のことを言っています。そこには7つの空白スペースと13の記銘の部分があり、それはシンクロトロン現在の宇宙論、時間の法則のシンクロ宇宙論を定義します。つまり、実際には合わせて20のスペースがあり、13が刻まれて、7が刻まれていないので、それらによって20が創られるのです。コーラン、スーラ20章7節を読むと、興味深いことに「仮令あなたが大声で話しても（関りなく）、かれは、秘められたことも隠されていることも知っておられる。」とあります。

これは、隠れた7（または失われた7）です。7の宇宙論は、すでに述べたように、永遠に失われた時間のインターバルで始まり、このインターバルの比率は7です。

ビッグバン以前の初まりのときに、永遠の完成、あるいは光の宇宙の完成があり、この永遠の球体のどこかの瞬間に、永遠の球体に亀裂と呼べるものを生み出す出来事が起こります。永遠。ゆえに、私たちはそれを永遠に失われた時間のインターバルとして定義します。これにより、7の比率によって支配された現われの世界に永遠がアクセスできるようになります。問題は、7の比率とは何かということです。

チラム・バラムから、初めに創造の7つの力があったことを私たちは知っています。七世代の書には、13の無限の系列があると記載されています。これらの無限の系列または13のサイクルは、永遠に失われた時間のインターバルです。

円環では360度が全体性を表します。従って、円を20分割し、13の記銘部分と無記銘の7に分けることができます。一単位の角度は18度、 $18 \times 20 = 360$ です。これが20日周期のウィナルが18個ある理由です。（訳注：18ウィナルである）トゥンの意味合いは円周に対応しています。ということで、7のインターバルは126度（ $18 \times 7$ ）で、13のインターバルは234になります。

すでに述べたように、これら13個のシリーズは、仮説上のビッグバンに関連している可能性があります。そして今、私たちは2012年の時点に差し掛かっており、天体物理学者たちは、宇宙の年齢は13.7百万年であると言っています。これはワンネスの法則を裏付けるもので、宇宙全体には7と13の比率があり、それが20を生み出します。そして13:20の比が普遍的なシンクロ係数なのです。

これが、13と7がワンネスの法則と呼ばれる理由です。 $13 + 7 = 20$ （二十進法では1.0と表記される）なので、「一の法則」です。つまり、「一の法則」は13:7であり、時間の法則は13:20なのです。

そして、「一の輪」と「時間の輪」は同じホイールです。「ユニバース」とは1ター

ン（ユニ・バース）、つまり「時間の輪」と「一の輪」の1ターンを意味します。私たちがやろうとしているのは、臨界点にあるこのターンの終わりに同調するために目覚めることです。ユニバースは意識の飛躍に備えているのです。

このホイールについては、また詳しく説明します。一番外側の輪にある13のセクションは、13バクトゥンに相当します。また、それぞれ10億年を表すこともでき、130億年にもなります。

2番目の輪には、1-8-2-9-3-10という（訳注：マヤ表記の）数字があります。これは黄色の輪です。そして、この数字の並びはツオルキン表のどの横行にも見られます。次の輪には、再び1から13までの順番通りの数字があります。

これらは最初の13個のスタンプです。そして、円環の残りの部分である14から20までを数え続けることができます。これが残りの7つの紋章です。これらは黙示録で言及されている7つの封印であり、七世代の書の周波数にも対応しています。14は魔法使いの書、15は宇宙の驚の書などです。



従って、4:7::7:13 と言うと、2番目と3番目の輪では、（訳注：1を揃えたとき、3番目の輪の数と2番目の輪の数を見れば）7が4と一緒にあり、13が7と一緒にあることが分かります。（訳注：13-7の輪では、それぞれの中央の）7は4のちょうど反対側にあります。色を付ければこのようになり、これですべてが良く分かるでしょう。

休憩しましょう。

OK。皆、休憩してバーに行きたいと思っていることは分かっていました。ただ残念なことに、私たちには提示すべき資料がたくさんあります。セミナーの前から、情報が膨大すぎて一部しか紹介できないことは分かっていました。



昨日は統一（ユニバーサル・ワン）というキーワードが出てきました。1が単に点1つで表されていることが分かります。1はスペースにおける点に等しい。

瞑想し、心をクリアにして、そのスペースそのものに単一の明るい点だけがあることを視覚化します。

さて、今日のキーワードは極性もしくは二項です。2で直線ができることに注意してください。2が与えられると、常にその2点間に線が結ばれます。ということで、スペース内の一点である1の次元から、線で結ばれ、始原の極性を生み出す2の次元に進みます。あるいは、地球の両極の間の関係において、磁場を発生させるものとも見ることができます。

従って、1が2に移行すると、極性が生じ、両半球、陰と陽、正と負が生じます。1個ずつの陽子と電子からなる大元の水素粒子ができます。これは、始まり、モノド（分割）、ダイアッド（相互）、そして「多」、多重性と呼ぶことができるものです。これは、一から二が生じ、二から三が生じ、三からすべてが生じるというタオの教えに見られるものです。従って、これらは基本的な宇宙の教えにすぎません。

陰と陽があり、これによって二項を得ることができ、倍にしていくことで、実線または破線の可能性を生み出します。この二項関係を三線構造に適用すれば、8つの可能性（訳注：易経の八卦）が与えられます。そのように、二項の系列ではすべて偶数が得られ、2で割ることができます。

すべての数字には一単位が含まれます。これが、すべての数字を1で割ることができる理由です。しかし、2で割ることができるのは偶数だけです。これはとても初歩的なことですが、同時に宇宙の協力にとっても非常に基本的で初歩的な事柄になります。

二倍の数列は1-2-4-8-16-32-64のようになります。64は並びの7番目の数字です。従って、DNAのコドンの数は二項数の7番の機能であると言えます。このようなタイプの構造を創造する二項システムが存在するわけです。2が動き出すことで生命の構造が生まれます。そして、これら直線の両端には正と負の極性があります。それから、それらが交差して、いわゆる交差二項極性を創造します。この交差二項極性が生命の進化の原動力となります。これはツオルキンに示されている基本原理です。

私たちがマヤの織機と呼ぶものを生み出す52個の銀河の活性化の正門があります。これがまさに二項極性の増加の順序になります。電気、化学、分子、有機など、宇宙のすべての創造物は2の倍数に基づいているのです。

ガラスの原料は二酸化ケイ素です。二酸化ケイ素の分子構造の組成を見ると、非常に硬く、またしっかりと結合したシートを造っており、手で切り離すことができないほどしっかりと結合されています。果物の一片を取り出して切り分けることはできますが、二酸化ケイ素はそうはいきません。二酸化ケイ素には32の対称の可能性があることは非常に興味深いです。32は二項数の6番目です。完全な形の水晶には6つの面が

あります。完全な二重終結水晶（ダブル・ターミネイテッド・クリスタル）には、6つの側面があり、両端に6つ面ずつがあるので、合計18になります。『宇宙科学』と『知識の書』にアクセスすると、私たちは18次元の宇宙に住んでいることになります。つまり、このクリスタルは18次元の宇宙の完璧な小宇宙を表すことになります。

幾何学的形状が作り出す自然の秩序の完璧さが分かります。宇宙のすべては、それをサポートする数学モデルによって支配されています。水晶から私たちを含むすべてを。私たちの13の主要な関節と20本の指がプリズム状（虹）の人間を創り出しています。すべては数学的コードによって管理されています。従って、数学的コードを学ぶときには、私たちは意識を元の純粋な構造に戻しているのです。

もともと思考があり、それが幾何学的な構造を構成する形をとりました。つまり、四次元で起こったこと（思考）は三次元での現れとなります。そして時間が経つと、その起源を忘れてしまい、非常に複雑な私たちの形に到達してしまいます。そこで今週のコドンは「源泉への到達」です。ソースに戻りましょう。私たちは宇宙の現実と基礎的意識構造の起源にあるコードを回復したいと考えています。

日々曆に触れ続けることで、毎日のキン、サイ時間単位、エルダー・フサルクのルーンなどの情報に馴染んできます。今日（訳注：毎月16日）のフサルクのルーンは、「（パートロ、パースは）化身を変容する記憶の井戸」です。玉座、化身、神秘、イニシエーションなど。これらは7つの大アルカナのコードです。

次のレベルでは放射状プラズマによりヘブタッド・ゲートを開きます。そして次に私たちが学ぶことは、4つのハイパープラズマです。



**アルファ-アルファ**：第1精神スフィア、前意識を「深奥なるサマディ」として活性化します。



**アルファ-ベータ**：第2の精神スフィア、潜在意識を「情報に満ちたサマーディ」として活性化します。



**ベータ-ベータ**：第3精神スフィア、顕在意識を「意識が目覚めた状態で媒体として働く」として活性化します。あなたは覚醒した意識状態でチャネリングします。



**ベータ-アルファ**（ベータ ノヴァとも呼ばれます）：第4精神スフィア、継続意識を「ハイヤー・マインド・コントロール」として活性化します。これは、あなたがハイヤーセルフに完全に身を委ね、あなたのすることすべてがハイヤーマインドによって支配され、「私はこれであり、私はこれを必要としている」という基準にづ

いて行動しなくなるときに起こります。

以上が4つのハイパープラズマの機能です。

第1精神スフィアは右後脳に位置し、第2精神スフィアは右前脳に位置します。左前脳が顕在意識の第3精神スフィア、左後脳に第4精神スフィア。

これは、週の4日目までに開く7つの放射状プラズマのゲートと一緒に進んでいきます。

これがアルファ-アルファ、ヘプタッドの最初のゲート、108です。

アルファ-ベータである2番目のゲートは291です。

3番目のゲートのベータ-ベータは144、

4番目のゲートはベータ-アルファあるいはベータ-ノヴァで、315です。

1日目は頭蓋骨の底の位置、

2番目はもう少し高い部位、

3日目は第三の目（サードアイ）に

4日目は額の中央上部の部位です。

以上が4つのハイパープラズマの機能です。これについては、CHC（コズミック・ヒストリー・クロニクル）の第2巻で説明されています。すべてが多くのグラフィックで示されています。特に、208ページと209ページに最も簡潔な情報があります。

（7つのゲートの）これらの数字の意味を知りたい場合は、（訳注：ベース・）マトリックスを確認してみてください。真ん中の縦列にこれらの7つの数字があることが分かります。そして、マトリックスが脳の場所とどのように対応しているのかを確認する必要があります。マトリックスの左側は右脳に対応し、右側は左脳に対応しており、まるで鏡を見ているかのようです。

第三の目にある144は、下から2番目にある数字です。108は頭蓋骨の基底部にあり、上から2番目にあります。

プログラムを見ると、残りのヘプタッド・ゲートも中央の垂直の柱にあることが分かります。

1日目と2日目に見られるマークに関して。これらは48個の新しいハーモニック・ウル・ルーンのうちの2つです。新たに6つのセット（訳注：ストランド・束）があり、それぞれに第2の創造の6オクターブから名前をとった8音またはハーモニックが含まれています。これら2つは、「銀河生命の全体性」を活性化する第3オクターブに属します。81から88まで進みます。



OCTAVE 1 STRAND 9	OCTAVE 2 STRAND 10	OCTAVE 3 STRAND 11	OCTAVE 4 STRAND 12	OCTAVE 5 STRAND 13	OCTAVE 6 STRAND 14
65 Octave of Divine Decree "BEI"	73 Command of Cosmic Creation Realized as Tree of Cosmic Fire	81 Radiogenesis Establishes Galactic Life Whole	89 Morphogenesis Establishes Galactic Art Whole	97 Union of Ascent and Descent	105 Octave of Infinite Mind Wave
66 Divine Decree Establishes Time of Second Creation	74 Tree of Fire Defined by Ring of Time	82 Galactic Life Whole Evolved as Time	90 Galactic Art Whole Defined by Time	98 Time Equalized by Union of Ascent and Descent	106 Infinite Mind Wave Floats in Time
67 Divine Decree Establishes Space of Second Creation	75 Tree of Fire Extends to Four Quarters of Space	83 Galactic Life Whole Extends into Space	91 Galactic Art Whole Defines Space	99 Space Perfected by Union of Ascent and Descent	107 Infinite Mind Wave Illumines Space
68 Divine Decree Establishes Firmament of Second Creation	76 Command of Cosmic Creation Enlightens Firmament	84 Galactic Life Whole Becomes Medium of Transmission	92 Galactic Art Whole Becomes Structure of Reality	100 Union of Ascent and Descent Established as Cosmic Space	108 Infinite Mind Wave Becomes Waking Consciousness
69 Firmament Divides Time	77 Firmament Defines Movement of Time as Day-Night	85 Galactic Life Whole Channels Time	93 Structure of Reality Evolved by Time	101 System of Command Actualized in Time	109 Waking Consciousness Identified as Time
70 Firmament Divides Space	78 Day-and-Night Defines Cosmic Space	86 Galactic Life Whole Channels Space	94 Structure of Reality Becomes Architecture of Space	102 System of Commands Evolves Cosmic Space	110 Waking Consciousness Discriminates Space
71 Divine Decree Unifies Timespace	79 Tree of Cosmic Fire Generates Planet Mind	87 Timespace Unifies Galactic Life Whole	95 Galactic Art Whole Becomes Meditation of Reality	103 Channel of Command Becomes Self-evolving	111 Infinite Mind Wave Reflects Infinity
72 Timespace Establishes Cosmos as One Universal Mind	80 Tree of Cosmic Fire Returns to Source as Star Mind	88 Galactic Life Whole Realized as Cosmic Consciousness	96 Galactic Art Whole Gives Form to Cosmic Consciousness	104 Channel of Commands Creates Cosmic Order	112 Infinite Mind Wave Evolves Infinity

64のウル・ルーンを含むハーモニック・シリーズがあったため、新しいルーンの番号は65から始まります。最初のオクターブのルーンは65～72です。2番目は73～80。そして3番目がこの81～88まで。ルーン84のタイトルには「銀河的生命がひとつの塊として伝達の媒体になる」とあります。2日目の88番のハーモニック・ルーンには「銀河的生命がひとつの塊として、それが宇宙の意識の在りようであるということが顕在化する」とあります。

銀河は宇宙の微細な構成単位です。各銀河には特有の統一構造があり、各銀河で進化する生命は銀河全体の財産であると考えられています。

つまり、13.7百万年以上をかけて銀河は全体として意識を持つようになる。従って、ドリームスペルなどのすべてのツールは銀河に属する機材であると考えられます。なぜなら、2012年以降にヌースフィアに到達することの意味は、私たちが銀河文化または銀河文明の意識的な一員になることだからです。より正確に言えば、銀河文明の一員となるのは私たちではなく、ヌースフィアとしてのこの惑星です。

今日はここまでです。明日はさらにお話ししたいと思います。どうもありがとう。

2日目終わり